

東京駅のすぐそばで、神戸の知を学ぶ。

2017 甲南大学 秋期公開講座・研究会の ご案内

Konan University



1 秋期公開講座 「女性脳」と「男性脳」を科学する —スムーズな人間関係のために—

講師：前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授)

11月4日(土) 14:00~15:30 募集人員/35名(先着順)
懇親会(自由参加)/15:30~16:30 受講料 /1,000円

女性の脳と男性の脳は構造も働きも異なります。そのことで、私達は、家庭、学校、そして会社などの人間関係で、意見のすれ違いや理不尽な思いをすることがあります。また、子育てや職場の社員教育などでも、性が違うことで多くの戸惑いを感じてしまいます。

本講座では、女性の脳と男性の脳の違いを解説し、どうして女性と男性が異なった考え方や行動をとるのかを解説します。そして「女と男の問題」の解決方法を脳科学の立場から提案します。

詳しくは裏面をご覧ください→

3 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第32回研究会 スイーツなマーケティング論 —神戸風月堂と小磯良平：神戸エレガンスの本質とは—

講師：日崎 隆広 氏(株式会社神戸風月堂 社長室 執行役員)
講師：荒木 武文 氏(神戸市立小磯記念美術館 事務室長)
ファシリテーター・司会：西村 順二(甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 所長)

11月16日(木) 15:30~17:00 募集人員/35名(先着順)
懇親会(自由参加)/17:00~18:00 受講料 /1,000円

神戸は洋菓子の街として有名ですが、それは「ハイカラ神戸」や「阪神間モダニズム」と呼ばれるように、港町・神戸が、明治後期・昭和初期の日本における洋風文化流入のさきがけになったことに起因します。本研究会では、1927(昭和2)年にフランス菓子をヒントに洋と和の融合から神戸スイーツを代表するゴフルを開発されるなど、日本・神戸の近代文明化に洋菓子産業として関わってこられた神戸風月堂の日崎執行役員にお越しいただき、神戸ゆかりの小磯良平に因んだ神戸市立小磯記念美術館とのコラボ企画として、神戸の街が様々な場面で洋風文化を受け入れ、そしてそれを神戸風に醸成していった息吹を皆さんと感じたいと思います。

詳しくは裏面をご覧ください→

2 秋期公開講座 日本の国債相場を支えているものは何か —国債の現況から考える国家財政—

講師：中島 将隆(甲南大学 名誉教授)

11月11日(土) 14:00~15:30 募集人員/35名(先着順)
懇親会(自由参加)/15:30~16:30 受講料 /1,000円

これまで繰り返し国債の危機が叫ばれてきました。振り返ってみると過去20年間、国の収入のほぼ4割が国債で調達され、その結果、日本の政府債務残高は世界最悪に。国債危機が叫ばれるのは当然のことです。ところが、現実の展開をみると、国債危機は生じていません。国債市場は活況を呈し、市場では「国債品不足」が続いています。国債金利も一貫して低下し、今日ではゼロ金利、マイナス金利の国債も登場してきました。このため、政府も金融機関も国債増発に対する危機意識が全くありません。なぜ、国債相場は安定しているのでしょうか。なぜ、国債増発が続くのでしょうか。本当に日本の国債は大丈夫なのでしょうか。

詳しくは裏面をご覧ください→

4 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第33回研究会 グローバル大競争時代における日本企業の経営 —第4次産業革命とコアコンピタンスへの戦略対応—

講師：小泉 慎一氏(元・東レ株式会社 副社長、現・株式会社DeNA 常勤監査役)
講師：杉田 俊明(甲南大学 経営学部 教授)

12月1日(金) 14:00~16:30 募集人員/25名(先着順)
受講料 /1,000円

グローバル大競争、そして第4次産業革命が進行する大変革時代において、日本企業はどのような課題に直面し、どのように対応すべきでしょうか？本研究会の前半では、東レで海外事業全般担当の副社長、そして経団連会長特別アドバイザー、複数の日本企業での社外取締役も歴任する小泉慎一氏が知見を披露します。

後半は、長年に渡って世界各地で調査研究を行っている本学経営学部・杉田俊明教授が実例を解説しながら、前半・後半を通して皆さまと質疑討議を行い、日本企業の対応について検討します。

詳しくは裏面をご覧ください→

受講のお申込みは、裏面の「受講申込書」をご利用下さい。

会場：甲南大学ネットワークキャンパス東京

甲南 東京 検索

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F TEL/03-6266-9520

お申込みの講座すべてにチェック☑を入れてください。		☆お申込み受付後、受講料(兼)受講料振込依頼票をFAXまたはE-mailにてお送りします。必ずご確認ください。	
<input type="checkbox"/> ①11月4日(土)14:00~15:30 懇親会(自由参加) 15:30~16:30		募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円	
秋期公開講座 「女性脳」と「男性脳」を科学する ースムーズな人間関係のためにー 講師:前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授)	女性の脳と男性の脳は構造も働きも異なります。このことを、脳科学では性的二型といいます。そして、この違いは胎児の頃から老齢期まで生涯を通じて、我々の行動に影響します。私達は、家庭、学校、そして会社などで、日常的に異性と生活や仕事を共にしていますが、そんな中、色々な場面で、意見のすれ違いや理不尽な思いをしたという経験は多かれ少なかれ、どなたにでもあると思います。実は、これらのトラブルの多くが、性的二型(女性の脳と男性の脳の違い)により生まれる「考え方の違い」に原因があるのです。そこで、本講座では、女性の脳と男性の脳の違いから発生する女と男の「考え方の違い」を解説します。性的二型を理解することは、家庭や会社での人間関係をスムーズにするのみならず、家庭や会社で人を育てる上でも大変役立ちます。		
<input type="checkbox"/> ②11月11日(土)14:00~15:30 懇親会(自由参加) 15:30~16:30		募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円	
秋期公開講座 日本の国債相場を 支えているものは何か ー国債の現況から考える国家財政ー 講師:中島 将隆(甲南大学 名誉教授)	国債相場が安定しているのは、まず、国債投資に向かう資金が金融機関に形成されているからです。デフレが長らく続いているので、金融機関には投資先の無い資金が積み上がっています。国債品不足となるのは、この資金が国債投資に殺到しているからです。第二の要因は、過去20年、国債金利が低下を続けているからです。国債金利が低下すると、金融機関の保有国債には評価益が発生します。金融機関にとって国債はまさに「おいしい」のです。国債の発行主体である政府にとっても、金利低下によって国債借換の特別ボーナスを手に入れることができます。このため、国債増発に対する危機感が生まれてこないのです。第三に、今日までのところ、国債に対する市場の信頼が維持されているからです。金融機関に投資先の無い資金が形成されていても、国債に対する信頼がなければ資金は決して国債に向かいません。では、市場の信頼は何によって維持されているのでしょうか。これらの問題を取り上げ日本国債のこれからを考えてみましょう。		
<input type="checkbox"/> ③11月16日(木)15:30~17:00 懇親会(自由参加) 17:00~18:00		募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円	
甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第32回研究会 スイーツなマーケティング論 ー神戸風月堂と小磯良平: 神戸エレガンスの本質とはー 講師:日崎 隆広氏(株式会社神戸風月堂 社長室 執行役員) 講師:荒木 武文氏(神戸市立小磯記念美術館 事務室長) ファシリテーター:司会:西村 順二 (甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 所長)	神戸を代表する和洋菓子店神戸風月堂は1897(明治30)年に神戸市中央区の元町通に開店しました。それから6年後の1903(明治36)年に神戸市中央区の中山手通りに生まれた小磯良平氏は、1926(大正15)年に帝展で特選に輝き、画壇で頭角を表します。神戸風月堂が洋菓子文化を神戸の街で広げていく時期に、小磯良平氏もフランス留学を経て日本における洋画界を牽引していました。本研究会では、(株)神戸風月堂社長室執行役員日崎隆広氏と神戸市立小磯記念美術館事務室長荒木武文氏をお招きし、神戸風月堂という企業、そして小磯良平という洋画の大家が、神戸さらには日本を舞台にどのような洋風文化を醸成し、広げていったのか、神戸の洋風文化にどのような影響を与えたのかについて、本学西村順二教授をファシリテーターに、お話をお聞きます。なお、神戸風月堂は神戸市立小磯記念美術館でカフェを出店されています。また、代表的な洋菓子ゴールを始め、新たな菓子作りにも取り組んでおられます。どんなお話が聞けるか、お楽しみに。		
<input type="checkbox"/> ④12月1日(金)14:00~16:30		募集人員/25名(先着順) 受講料/1,000円	
甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第33回研究会 グローバル大競争時代に おける日本企業の経営 ー第4次産業革命とコアコンピタンスへの戦略対応ー 講師:小泉 慎一氏 (元・東レ株式会社 副社長、現・株式会社DeNA 常勤監査役) 講師:杉田 俊明(甲南大学 経営学部 教授)	グローバル大競争、そして第4次産業革命が進行する大変革時代において、日本企業はどのような課題に直面し、どのように対応すべきでしょうか？ 本研究会の前半では、東レで海外事業全般担当の副社長、そして経団連会長特別アドバイザーなどを歴任し、ダボス会議にも複数回参加し、複数の日本企業にて社外取締役や監査役も担当する小泉慎一氏が知見を披露します。 司会・コーディネーターは長年に渡って世界各地で調査研究を行っている本学経営学部・杉田俊明教授が務め、後半に日本企業の実例も解説しながら前半・後半を通して皆さまと質疑討議を行い、日本企業の対応について検討します。		
お名前	フリガナ	甲南大学、高、中、トウレーヌ卒業生の方は チェックを入れてください。	
ご住所	〒 _____		
電話番号	(_____) _____ - _____	FAX	(_____) _____ - _____
E-mail	_____ @ _____		
ご勤務先	_____	職名	_____
当チラシの入手方法	・新聞折込(新聞名 _____) ・書店配布(書店名 _____) ・甲南大学からのDM ・その他(_____)		

申込方法

送り先

お申込みは、この受講申込書に必要事項をご記入のうえ FAXまたは郵送にて「甲南大学ネットワークキャンパス東京」あてにお送りください。または、E-mailにて受講申込書の必要事項をご記入のうえお送りください。

- ・FAXの場合: (03)6266-9522
- ・E-mailの場合: nctokyo@adm.konan-u.ac.jp
- ・郵送の場合: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10F
甲南大学ネットワークキャンパス東京あて



☆ご記入いただいた個人情報は、甲南大学ネットワークキャンパス東京が管理し、公開講座に関するご連絡・ご案内等に利用させていただきます。この取扱いをご理解のうえお申込みください。